

日立除湿機

RD-1022LD形

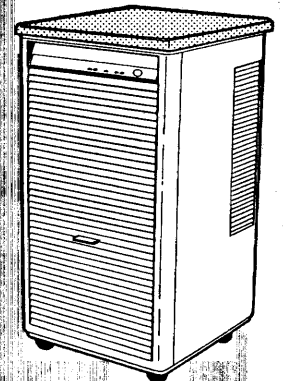
このたびは日立除湿機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

目次

- 特長..... 1
- 安全のため特に注意していただきたいこと..... 2
- 運転の前に知っておいていただきたいこと..... 3
お使いになれる部屋の広さ・運転可能な部屋の温度範囲・
部屋の温度と除湿量の関係.....など
- 各部の名称と働き..... 4
- 運転のしかた..... 5~8
・運転のしかた..... 5
・水受容器の出しかた、入れかた..... 6
・連続排水のしかた..... 7
・テレコンローラーセットによる運転について..... 8
- 上手な使いかた..... 9
- このようなことにもご注意を..... 10
- お手入れと点検について..... 11~12
- 長期間お使いにならないときは..... 12
- アフターサービスと保証について..... 13~14
- 仕様..... 14



お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。



形名	RD-1022LD
購入年月日	年 月 日
購入店名	
	TEL.

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

★日立エコー(らしのダイヤル)家電品のお買物相談は...
0120-312111
(フリーダイヤル・無料 年中無休9~20時 東京で受信)

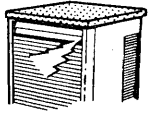
日立家電販売株式会社

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)502-2111

特長

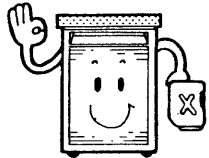
●ムダな運転を抑える……………湿度センサー付き



運転スイッチを“自動”にすると、湿度センサーが除湿運転を自動コントロール。

部屋の湿度が約60%以下になると、自動的に運転をストップし、約65%以上になると自動的に運転を再開します。ムダな運転を抑えますので、電気代の節約ができます。

●取扱いの便利な……………水受容器



新機構の非接触形満水停止装置の採用により、水受容器のフロートレス化を実現。

フロートレス構造の水受容器なので、水捨てやお手入れが容易です。

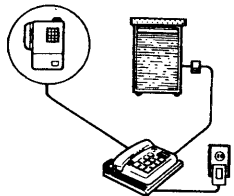
●突然の停電に……………自動運転開始機能付き



運転中の突然の停電に補助回路が働き、自動運転開始機能が動作し、給電と同時に“自動”運転開始。

自動運転開始機能の動作有効時間は最大5時間です。

●ホームオートメーション対応……………HA用ポスト付き

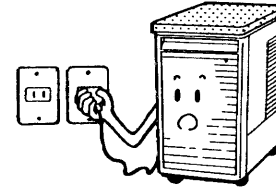


一般加入電話回線を利用して、遠隔操作ができる“テレコントローラーセット”と接続可能。

テレコントローラーセットと接続するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

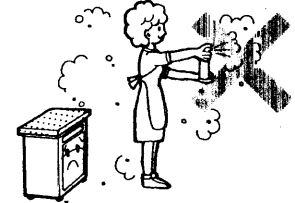
安全のため特に注意していただきたいこと

コンセントは単独で



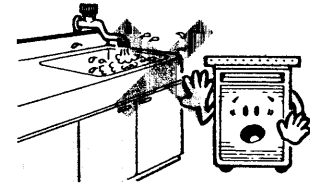
この除湿機は100V用です。分岐コンセントは発熱などの原因になり危険です。

可燃性スプレーにはご注意ください



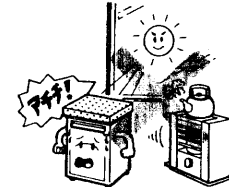
運転中の除湿機の近くでは使わないでください。引火の危険があります。

水がかからないように



水がかかるような場所で使わないでください。水がかかると絶縁が悪くなり危険です。

ストーブなどの熱器具の近くで使わないで



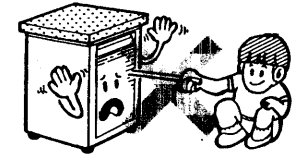
熱のため、本体が変形するおそれがあります。直射日光などもさけてください。

除湿機を倒さないで



水受容器の水が機械部分にかかり、絶縁が悪くなります。また、倒れた衝撃で故障することがあります。

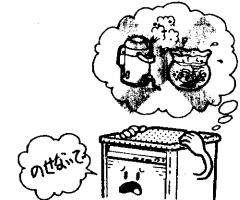
細い棒などを入れないで



感電したり、故障の原因になります。

本体の上に重いものや、熱いもの、また花瓶や金魚鉢等を置かないで

変形したり、水がかかると絶縁が悪くなり故障の原因になります。また、腰掛けや踏み台にすると本体が動き危険です。なお、本体の上に置けるものの重さの目安は3kg以下、温度の目安は45℃以下です。



運転の前に知っておいていただきたいこと

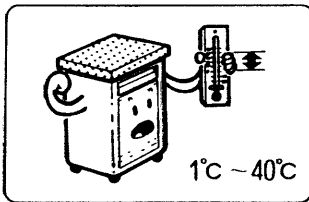
●除湿機には、冷房能力はありません。むしろ、運転中に熱を発生しますのでお部屋の温度が約1℃～2℃上がります。

1

お使いになれる部屋の広さは、右の表が目安です。

除湿可能な部屋の広さは、住宅構造や洋室・和室の違いなどによっても異なりますが、右の表を目安にお使いください。

50Hz 地区	11～17畳 (19～24㎡)以下
60Hz 地区	13～19畳 (21～32㎡)以下



2

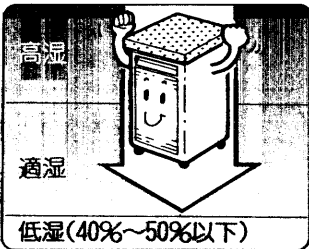
運転可能な部屋の温度は1℃～40℃です。

1℃以下では霜取り時間が長くなるとともに、除湿水が凍結するため除湿できなくなります。40℃をこえると除湿機内の温度が上昇し、無理な運転となります。

3

特に低湿度(40%～50%以下)に保ちたい場合は、適しません。

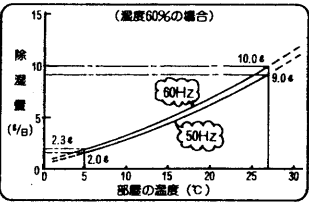
この除湿機は、日常生活に支障をきたす湿気(湿気の害・不快感など)を取り除くためのものです。特に低湿度に保ちたい場合は適しません。また、貴重品の保管にご使用になる場合は、ご希望の湿度に維持できるかどうか、よく確認してからお使いください。



4

除湿量は部屋の温度によっても変わります。

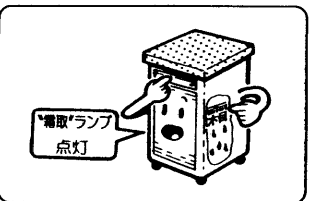
温度が低くなるにつれて、除湿量は図のように少なくなります。



5

霜取り中(“霜取”ランプ点灯)は風が出ません。

部屋の温度が約18℃以下になると、冷却器に霜が付きますので、霜取り運転を行います。霜取りの頻度は、約1時間～2時間に1回、1回の霜取り時間は5分～30分程度です。



各部の名称と働き

■トップテーブル

軽いものが置けます。(約3kg以下)

■空気吸込口

お部屋の湿った空気を吸い込みます。

■つまみ

■操作部

■空気吹出口

(前面・左・右・後面)
除湿した乾いた空気を吹き出します。

■エアフィルター

空気中のホコリを取り除きます。

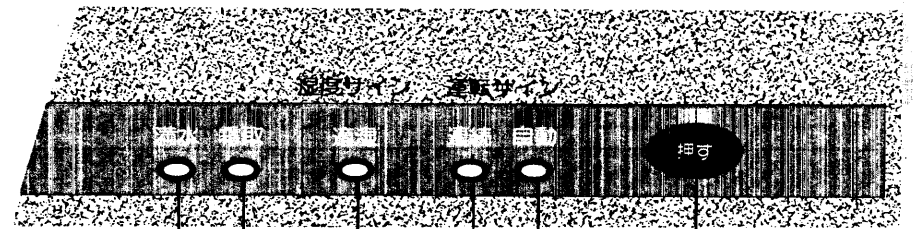
■前カバー

つまみを指先で引いて開けます。

■水受容器

前カバーの中にあります。満水(約4.8ℓ)になると、自動的に運転を止めます。

■キャスター



■“満水”ランプ

水受容器が満水になると点灯し、自動的に運転が停止します。

■“霜取”ランプ

霜取りを行っているときに点灯します。

■湿度サイン

“適湿”湿度約65%以下でランプが点灯します。

■運転サイン

“自動”お部屋の湿度を約60%～65%にコントロールします。

“連続”湿度に関係なく運転を続けます。

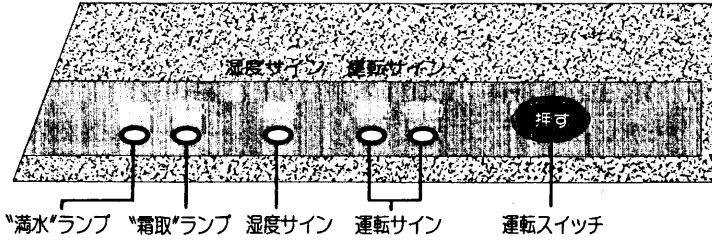
■運転スイッチ

1回押す毎に“自動”“連続”“停止”をくり返し、運転の切り換えを行います。

運転のしかた

水受容器が正しく入っているかどうか確かめてから運転操作をしてください。水受容器が正しく入っていないと運転しません。(水受容器の出しかた、入れかたはP.6ページ)

操作部

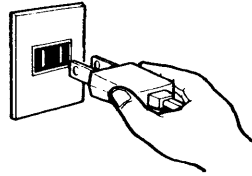


運転のしかた

電源プラグ

コンセントに差し込みます。

電源プラグをコンセントに挿入した直後、運転スイッチを押すと遅延回路の働きで送風機のみが運転しますが、その状態でお待ちください。約3分後に圧縮機が運転を開始します。



運転スイッチ

運転スイッチを押します。

運転スイッチを押すと、運転サインが点灯し運転を開始します。運転サインは運転スイッチを1回押す毎に“自動”“連続”となり、“連続”からもう一度押すと停止にもどります。

運転の種類と使いかた

運転サイン	使いかた	運転内容
“自動”	ふだんは、この位置にして除湿運転を	お部屋の湿度を約60%~65%の適湿状態にコントロールします。
“連続”	湿気の多い日や、洗濯物の補助乾燥など急いで湿気を取りたいとき	お部屋の湿度が約60%以下になっても連続して除湿運転を続けます。

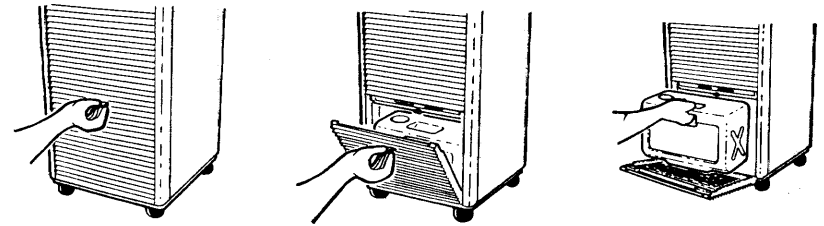
水受容器の出しかた、入れかた

出しかた

- つまみを引いて前カバーが水平になるまで開きます。
- 水受容器のとつてを握り、持ち上げながら引き出します。
- 前カバーを閉じておきます。

入れかた

- つまみを引いて前カバーが水平になるまで開きます。
- 水受容器のとつてを握り、静かに当たるまで押し込みます。
- 水受容器がベースの上に正しく入っているか確認してから前カバーを静かに閉じます。



ご注意

- 水受容器は除湿水をためる他に、マイクロスイッチを入り切りする重要な部品です。水受容器が確実に入っていないと運転スイッチを押したとき“満水”ランプが点灯することがあります。このときは再度水受容器を入れ直してください。

次の場合は運転が“自動”に切り換ります。

- 運転中に停電になり、5時間以内に再び電気が復帰したとき。
- 接続したテレコンローラーセットにより運転したとき。

次の場合は自動的に運転を停止します。

- 水受容器をはずしたとき。
- 水受容器が満水(約4.8ℓ)になったとき。
- 機器の異常過熱や水受容器から水があふれたとき。(運転サインの表示ランプが点滅します。運転スイッチを押し“停止”にし、電源プラグを一度コンセントから引き抜くことにより解除できますが、このときは除湿機の異常が考えられますので修理を依頼してください。)

- 電源プラグの抜き取りにより運転を停止し、再び電源プラグを差し込むと運転スイッチを操作する前に“自動”運転を開始することがあります。

連続排水のしかた

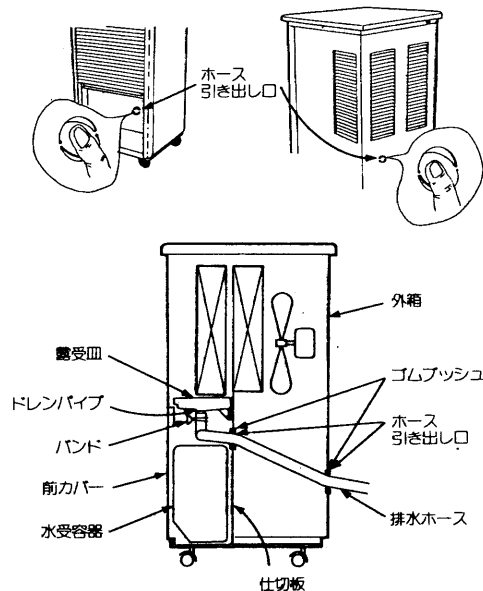
サービス専用部品 カードNo. RD-2004026「排水ホース」を接続することにより、除湿水の連続排水ができます。連続排水工事をされるときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

排水ホース(カードNo. RD-2004026)

1	排水ホース	長さ3m
2	バンド	1個

取り付け方法

- 前カバーを開き、水受容器を取り出し仕切板および外箱のホース引き出し口のノックアウト穴をあけます。
- 除湿機に付属しているゴムブッシュを仕切板・外箱のホース引き出し口に取り付け、排水ホースを通します。
- 本体内部の露受皿に挿入しているドレンパイプを抜き取り、排水ホースの先端を挿入し付け替え、バンドで固定します。取りはずしたドレンパイプは保管してください。
- 水受容器を元の通り入れ、前カバーを閉じます。



- 水受容器は除湿水をためる他に、マイクロスイッチを入り切りする重要な部品です。連続排水のときも必要ですので必ず入れてください。
- 排水ホースの先端を水中に入れたり、ホースの途中に高低差をつけないでください。また、排水ホースの設置場所が氷点下になるところでは使用しないでください。排水ホースが詰まり、水が機外にあふれるおそれがあります。

テレコントローラーセットによる運転について

この除湿機はテレコントローラーセットと接続することにより、外出先のプッシュ式電話機から遠隔操作ができます。このテレコントローラーセットをお使いになる場合は次のことが必要になりますので、設置するときはお買い上げの販売店にご相談ください。

- 定期的にエアフィルターのお掃除や除湿機の異常を点検できる人(別荘・マンションの管理人など)がいて処置できることが必要です。
- 除湿機の状態が次の場合は、テレコントローラーセットからの応答は“停止中”となりますが、運転指令を送信しても運転しません。正しい処置をしてお使いください。

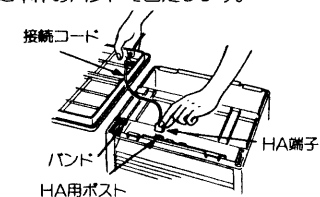
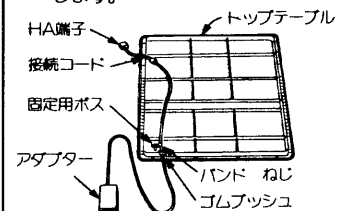
除湿機の状態	処置方法
① 電源プラグがコンセントから抜けているとき	電源プラグをコンセントに差し込みます。
② 除湿機を設置した地域で停電が生じたとき	電気の回復を待ち、再度運転指令を送信します。
③ 満水停止装置が働き、運転を停止しているとき	①排水ホースが設置されていないときは連続排水工事をします。 ②排水ホースが設置されているときは、ホースの詰まりが原因です。詰まりを取り除きます。
④ 運転サインが点滅し、運転を停止しているとき	電源プラグをコンセントから抜き取り、サービスを依頼します。
⑤ 運転スイッチを操作しても運転できないとき	電源プラグをコンセントから抜き取り、サービスを依頼します。

以上の状況を遠隔地で知ることはできませんので、定期的(2週間に一度)に状況確認を行うことが必要です。長期間放置しますと、家財・家具等に被害がおよぶことがあります。

HA端子の接続方法

テレコントローラーセットの設置・据付工事には専門の技術が必要です。また、除湿機本体も動かないような固定が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

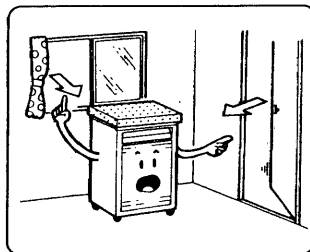
- ① 本体のトップテーブルをはずし、裏面の固定用ポストにアダプターの接続コードを付属のバンドとねじで止め、ゴムブッシュを通します。
- ② HA端子を本体のHA用ポストに挿入して、トップテーブルを元の通り取り付けます。接続コードは、たるみのないように本体のバンドで固定します。
- ③ ①項で取り付けしたアダプターは、除湿機の設置場所近くの柱または壁に取り付けてください。



上手な使いかた

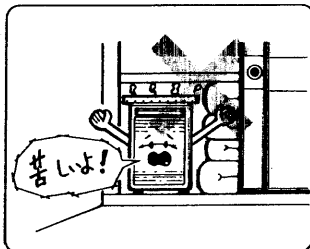
窓や扉はきちんと閉めて

お部屋の窓や扉の開閉はできるだけ少なくしてください。外の空気が入りますと除湿効果が低下します。



空気の循環のよい場所で

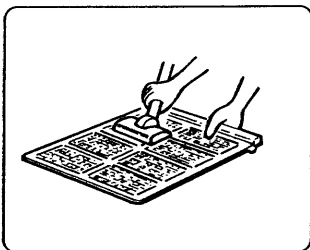
効率よく除湿するよう、熱気の少ないお部屋全体の循環のよい場所を選んでください。



エアフィルタの清掃は忘れずに

エアフィルタの目づまりは風量をへらし、除湿量を減少させます。

2週間に一度は必ず掃除してください。



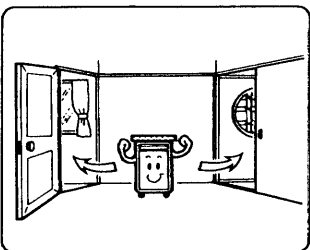
ふだんは“自動”運転で

湿度センサーが除湿運転を自動コントロールしますので、お部屋の湿度を約60%~65%の適湿状態に維持します。



6畳~8畳のお部屋は 2室~3室一緒に

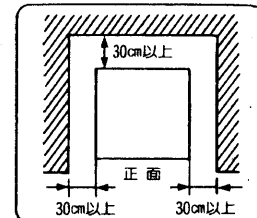
除湿できるお部屋の広さは約11畳~19畳です。お部屋の間仕切りを開けて2室~3室同時に除湿できます。



このようなことにもご注意を

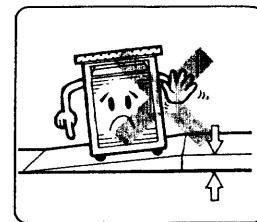
① 設置場所は……

床が弱いと振動や騒音の原因になります。除湿機の重量にじゅうぶん耐えるところをお選びください。また、空気吹出口や吸込口がふさがれますと、機能低下や騒音増大のもとになります。据付スペースは右図を目安にして空気吹出口をあけてください。



② 水平なところで……

傾いた状態で使いますと、除湿水が水受容器の外に落ち、床をぬらすおそれがあります。また、振動や運転音も大きくなります。傾きの目安は片側0.5cm以下です。

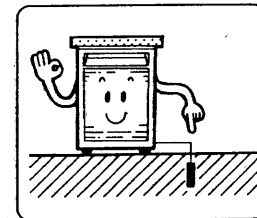


③ アースについて……

万一漏電したときの感電防止のために、お買い求めの販売店に依頼して必ずアース工事をしてください。アース線は背面のアース接続ねじに接続してください。(アース工事は有料です)

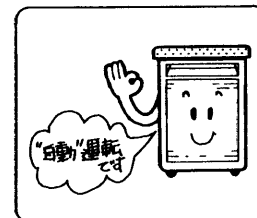
次のようなところにアース線を接続しないでください。

- (1) 水道管
- (2) ガス管
引火や爆発の危険があります。
- (3) 電話線のアースや避雷針
落雷のとき大きな電流が流れ危険です。



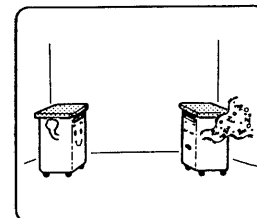
④ 使用中に停電したとき

停電したあと約5時間以内に再び電気が復帰すると、自動的に運転サイン“自動”が点灯し、約3分後に除湿運転を開始します。



⑤ 同室で2台を同時に運転すると……

“自動”運転では、適湿を感知する湿度センサーの作動値が低い方の除湿機が優先して運転するため、定時間後の貯水量に差が生じます。



お手入れと点検について

除湿機を長持ちさせるために定期的にお手入れしてください。お手入れするときは必ず運転スイッチを“停止”にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアフィルターのお手入れ

エアフィルターにホコリがたまりますと、湿度を下げるのに時間がかかるばかりでなく故障の原因になります。2週間に一度程度、次の要領でお手入れしてください。

- ①前カバーを開き、エアフィルターのつまみを持ち、下方向に引き出します。
- ②ホコリは掃除機で吸い取ります。汚れがひどいときは、水洗いをしてから陰干ししてください。
- ③エアフィルターを元の位置に取りつけます。



- 40℃以上の温水で洗わないでください。また、乾かすときは直射日光にあてないでください。縮むことがあります。
- 掃除終了後は、エアフィルターを必ず入れてください。入れないで運転しますと内部にホコリが入り故障の原因になります。

水受容器のお手入れ

水受容器は、本体に収納したときにマイクロスイッチを押して運転の準備をする重要な部品ですので、変形させないように大切に取り扱いってください。変形させますと運転することができなくなるおそれがあります。

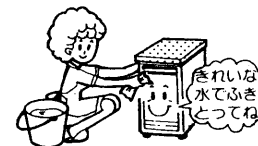
- ①水受容器を本体から取り出します。
- ②中に水を半分ほど入れて振り排水します。これを2回～3回くり返します。
- ③外側の水滴を乾いた布でふきとり、本体に入れます。



- 40℃以上の温水で洗わないでください。また、乾かすときは直射日光にあてないでください。変形することがあります。

外装のお手入れ

- ①柔らかい布にぬるま湯か中性洗剤をお使いのときは必ずきれいな水でふきとってください。
- ②中性洗剤をお使いのときは必ずきれいな水でふきとってください。



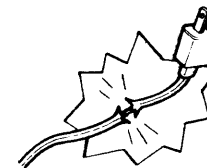
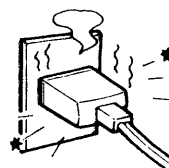
- 除湿機に水がかかると絶縁が悪くなったり、さびたりします。電気部品の周囲をふくときは布をかたくしぼってください。
- 次のようなものは使わないでください。プラスチックなどをいためます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉アルカリ性洗剤・熱湯・酸・たわし
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



定期的な点検しましょう

安心してご使用いただくために、半年～1年に一度、定期的に次のような点検を行ってください。そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

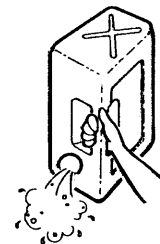
- ①電源プラグに異常な発熱などありませんか？
- ②電源コードにき裂けやすり傷がありませんか？
- ③エアフィルターが破れていませんか？



長期間お使いにならないときは

長期間お使いにならない場合は、除湿機を長持ちさせるために次の処置をして保存してください。また、電源プラグをコンセントから抜いて保存してください。

- ①水受容器に残っている水を完全に捨ててください。
- ②エアフィルターを掃除してください。
- ③直射日光のあたらない風通しのよいところで、半日ほど乾かしたあと必ず立てた状態で保存してください。



アフターサービスと保証について

次の症状のときは、ただちに運転を停止して販売店へご連絡ください。

- 運転サインの表示ランプが点滅するとき
- ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき
- 誤って異物や水を入れてしまったとき
- 電源プラグやコードが異常に熱いとき

1 サービスを依頼されるときは



故障かな？

……と思ったら、次のことをお調べください。

(サービスマン以外の方はキャビネットをはずさないでください。)

状 況	次の点をお調べください
運転スイッチを入れても運転しないとき	①運転サインの表示ランプが点滅していませんか？ (詳しくは☎6ページ) ②水受容器が正しく入っていますか？ ③“霜取”ランプが点灯(霜取り中)していませんか？ (詳しくは☎3ページ) ④電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか？ ⑤ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか？ ⑥停電ではありませんか？
除湿量が少ないとき	①エアフィルターが目づまりしていませんか？ ②温度・湿度が低くありませんか？ (詳しくは☎3ページ) ③空気吸込口や吹出口がふさがれていますか？ (詳しくは☎10ページ)
なかなか“適湿”にならないとき	①窓や扉の開閉が多くありませんか？ ②石油ストーブ、その他水蒸気が出るものがありますか？ ③部屋が広すぎませんか？
音がうるさいとき	①床が不安定ではありませんか？(詳しくは☎10ページ) ②除湿機の置き方が悪く、がたついていませんか？

これは故障ではありません

- ①運転すると部屋の中がしばらくの間かびくさくなる場合があります。
これは壁などから取り出された水分のにおいで、除湿機のおいではありません。
- ②ときどき水の流れるような音がすることがあります。
これは冷凍機の中の冷媒が流れる音です。
- ③“適湿”時に霜取りに入りますと一時的に“適湿”のランプが消えることがあります。
これは湿度センサーが霜取りの湯気を受けるためにお部屋の状態とは関係ありません。霜取りが終了しばらくすると元の“適湿”に戻ります。

以上のことをお調べになり、それでもぐあいの悪いときは、電源プラグをコンセントから抜き、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

販売店名は、裏表紙の「お客様メモ」欄に書いておくと便利です。

お知らせいただきたいこと

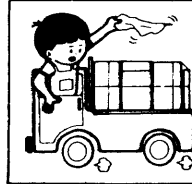
- 1 形名—— RD-1022LD
- 2 故障状態——できるだけ詳しく
- 3 道順——付近の目印も

2 アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

3 転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。



4 補修用性能部品の保有期間について

当社は、この除湿機の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

5 保証について

- 1 この商品は保証書付きです。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- 2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(ただし、冷凍サイクル部分は3年間です。)なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 3 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

仕 様

形 名	RD-1022LD
種 類	B形(約1℃以上で使用可能)
定格除湿能力	9.0/10.0 ℓ/日
定格電圧	100V
定格周波数	50Hz・60Hz 共用
定格消費電力	345/395W
外形寸法	幅385×奥行390×高さ670mm
重 量(質量)	24.5kg

付 属 品

- 水受容器……………1
- エアフィルター……………1
- ゴムブッシュ……………2
- バンド……………1
- ねじ……………1

- 定格除湿能力・定格消費電力は、室温27℃・相対湿度60%を維持する室内で運転した場合の値です。
- /で示される数値は左が50Hz、右が60Hzの値です。